



# 東京島しょ郷友連合会だより

11号

【発行者・発行責任者】  
東京島嶼郷友連合会  
大澤博紹  
【編集責任者】  
櫻田喜夫  
【制作・印刷】  
AIBK 企画

## 《ごあいさつ》

郷友連合会会長

大澤博紹



新年あけましておめでとうございます。島嶼郷友連合会の活動に、日頃より一方ならぬご理解とご協力を賜りあらためて厚く御礼申し上げます。今、我が国を取り巻く諸情勢は北朝鮮の核ミサイル問題や、地球温暖化に起因する自然環境の激変など、課題は大きなもの。最も重要な政治・経済の動向は、他先進諸国に比べると平穏かつ安定的に推移しております。加えて世紀の祭典、オリンピック・パラリンピック開催を目前に控え、躍動する都市に変貌するものと期待しています。

連合会の活動は島出身者の親睦と連携を図り、故郷の発展に寄与することを目的として、島めぐり旅行、だよりの発行、総会と懇親会の開催、又、災害時における街頭募金活動等を行っております。

最大の課題であります組織と財政の問題については、昨年来PTを設置して活発な議論を重ね組織の強化と運営財政について取り組んで参りました。その結果連合会の活動を休会中となっている御蔵島についてはご理解を得て、本年度中には復帰される見通しとなりました。尚、新島や他島につきましては検討中ですが、これにより連合会の体制が一層整うものと確信しております。

さて日本の自然は美しいですが、とりわけ島嶼の自然美は大都市東京に欠くことの出来ない大きな財産であります。昨年島めぐりで神津島を訪問しました。変化にとんだ自然豊かな素晴らしい景観は私達を大変楽しませてくれました。今年の島めぐりは八丈島を予定しております。その節は大勢の方のご参加を楽しみにしております。皆様には引き続き連合会に対するご理解とご協力をお願い致します。結びに皆様のご多幸とご健勝を心からお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

大島会会長

秋廣道郎



新年明けましておめでとうございます。郷友連合会は、昨年、規約を改正し、常任理事会体制を確立し、より機動的な運営体制を作り出したが、大澤会長・梅田理事長を中心に、戊年にふさわしい活気に満ちた会として発展することを期待します。郷友連合会が、各島の郷友会や島々の皆様との結びつきをより深め、着実に発展するよう頑張ります。

■郷友連合会のこと  
昨年の郷友連合会の大きなイベントは、神津島の親睦旅行でした。既報のとおり、神津島の皆様方の心暖まるおもてなしにより、大変有意義で貴重な体験をさせて頂き、改めて神津島の皆様に感謝いたします。個人的事情で恐縮でしたが、神津島の親睦旅行初日は、大島波浮港で「平六没後200年記念式典」が挙



され、ご多用のところ浜川謙夫神津島村長にもご列席頂きました。その為、私はその実行委員長でありましたので、旅行には一日目には参加出来ませんでした。翌日、朝6時に岡田港発の東海汽船に乗船し、利島・新島・式根島を経由して、神津島に向かいました。その船旅は、各島の極めて個人的な情景を目の当たりに出来、改めて、太平洋に浮かぶ島嶼の素晴らしさを実感することができました。ところで、昨年、郷友連合会では理事会において、連合会だより・旅行企画・財政改善の三つのプロジェクトチーム（PT）の専門部を編成することとなりました。

その主な検討事項は、  
①財政の基本方針（郷友会の事業はどうあるべきか）  
②財源の確保はどのようにするか（会費制の検討・広告宣伝費・イベントの実施など）  
③ソーシャルネットワークシステム（SNS）の検討（ホームページ・ツイッター・フェースブックなど）  
④法人化の検討（一般社団法人・NPO）です。

■大島会のこと  
大島会の年中行事になりつつあるのは、I、昨年で3回目を数えた「新成人祝う会」です。今年2月3日（土）の予定です。主催は、「シマイル」（大島台風災害の折に立ち上げた大島の子どもの為のイベント企画等を行う若者達の組織）で、大島郷友会が後援しています。

II、第五回親睦ゴルフ会  
さる11月9日、第五回大島会ゴルフコンペを都ゴルフクラブ（都留市）で行いました。参加者は、9名でした。プレー後の懇親会で、島の課題や郷友会として何ができるか意見交換しました（写真添付）。

III、今年、大島会の恒例となるイベントを作るよう検討しております。皆様の御意見・アイデアを募集します。

神津島郷友会 会長

山田 恵照



新年にあたり伝統芸能がここ数年とみに薄れ行く現状を見るにつけ心を痛めている。

先般の郷友連合会の旅行は神津島でした。私はきつと唄や踊りで歓迎してくれて、他島の方々と楽しい交流が出来ることを思い期待でいっぱいでした。しかし実際は私の力不足もあつたとしても、このままでは伝統も途絶えてしまうのではないかとという思いが去来したのです。

これは、と思う方を訪ねてみると「最近では唄う人も少なくなつてしまつた。」「高齢化してしまひ足や腰が痛いので。」「かつて名人と言われた方も調子がよくないから」と断られてしまつた。「今はカラオケの時代だ」と言われる人もある。

庄助組などあつて、大漁の時や節目節目にそれぞれ競うように大層賑わつていたものだった。私は十五歳で島を出ました

がここまで低調とは思ひも依らなかつた。一度途絶えてしまつたと復活は難しいと思う。私たちの代で無くしてしまつていいのだろうか。何とかしなければという一念です。

私も民謡を少しやつていける関係で仲間をお誘ひしたことがあつた。神津には民謡が多く、有名な「神津節」がある。それを直接聞きに行かないかと。一度目は前所属して

いた日野市民謡の会で、会主 津山昌山さん一行で、村立「ちぢぶ会館」で地元の方(男性三人・女性六人)と私たちの演し物で交流をやりました。

を担当し各地を数年間巡回された。二十八年度技能賞を授与されていま

す。民謡は郷土の生活の中に生まれた自然の声であつて、その美しさは郷土の美しさとともに、いつまでも傳承されて行くものだと思う。八丈島のしよめ節、琉球の鳩間節、松前の追分け：日本

には沢山の唄がある民謡について日本民謡おさらい教本では次のように述べています。  
・おらかな心、よろこびと潤いと憩いとそれを与えるのが民謡だ。  
・民謡とは民族生活の固有の土地に、その文化に根ざし時代と生活と共に展開している。  
・表現法に特定の基準、制約が無いこと：個々の型はあつても人により情緒的に表現が自由である。

このように、私たちが生活していく中で、精神衛生上からも健康を保つためにも大切なのが民謡ではないだろうか。  
この民謡の良さを孫子の代に引き継げるように、今の私たちが伝えていく義務があるのではない

いだろうか。また、民謡については機会があつたら書きたいと思ひます。

三宅島郷友会 会長

櫻田 喜夫



あけましておめでとうざいます。

島嶼郷友連合会だよりも今年で11号を数えることになりました。昨年は組織の変更、それに伴う規約の改正などで色々とせわしい一年間でありました。今年3月末をもつて役員の変更となる年でもあります。

連合会の今後の課題として各島々との親睦を深めるために、会が島の行政に如何に協力出来るかを積極的に働きかける事が大事ではなからうかと思ひ次第であります。  
過疎化する島々の現状を見ますと、我々連合会で何が出来るか、時間には掛かりますが知恵を絞つて参加し貢献出

来たら良いと思ひます。新年にあたり近い将来当面するであろう課題を述べさせて頂き私の挨拶とさせていただきます。

・三宅島イベント予定

1月2日(火) 船祝い(各地区)

GEOSポットと季節の自然散策(アカコッコ館) 電話 04994-60410

2月 節分祭(御笏神社) 初午(各地区)

3月 アカコッコの森づくり(アカコッコ館)

4月 キャンプ場オープン(大久保浜地区)

5月 三宅島一周バードウォッチング(アカコッコ館)

6月 メガネ岩ダイビング解禁(三宅島観光協会)

ウチヤマセンニユウ観察会(アカコッコ館)

ドルフィンスイムツアー(11月中旬)

3月 アカコッコの森づくり(アカコッコ館)

4月 キャンプ場オープン(大久保浜地区)

5月 三宅島一周バードウォッチング(アカコッコ館)

6月 メガネ岩ダイビング解禁(三宅島観光協会)

ウチヤマセンニユウ観察会(アカコッコ館)

ドルフィンスイムツアー(11月中旬)

3月 アカコッコの森づくり(アカコッコ館)

島巡りと婚活のコラボで島を盛り上げたい!

大島会 河野秀夫



日頃から、退職したらマラソンで島巡りがしたいと思つていたところ、ひよんなご縁でNPO法人「ふるさと日本元氣塾」事務局長の山縣さんと知り合いになりました。  
この会は、快い運動で地方や離島を元気にしたいと活動しており、新たな試みとして伊豆諸島で『島巡りマラニック&婚活ツアー』の開催を考えています。前号でも紹介しましたが、その下見ツアー(5名)を7月に3泊4日で実施しました。5月の郷友会旅行に引き続き、島の自然と人の温かさに触れてきました。



《7月14日夜〜15日大島  
↓利島↓神津島》  
久しぶりに乗った2  
3時発さるびあ丸は3  
連休を島で遊ぶとい  
う若者で大混雑。高速船  
に慣れた身には寝不足  
気味だったが、改めて夏  
の島は今も昔も若者達  
のパラダイスであるこ  
とを再認識。  
早朝に大島を経て利  
島に到着。滞在時間は3  
時間。早速、島一周ウオー  
キングに出発。途中、椿  
畑、サクユリや珍しい蓮  
の池を堪能して8kmを  
完歩。勤福会館では「東  
京島巡りパスポート（し  
まぼ）」をゲットし、さ  
らに島巡りの楽しみが  
増えました。高速船で昼  
前に神津島着。民宿「文  
栄」で一休みして、郷友  
会旅行に続き2度目の  
天上山トレッキング。こ

この日は快晴でまた山頂  
一周を満喫、何度登って  
も期待を裏切らない魅  
力的な天上山でした。  
《7月16日（日）  
神津島↓新島↓式根島》  
朝、流人墓地散策や多  
幸湾の名水を堪能し、神  
新汽船フェリーで新島  
へ。  
滞在は2時間弱なの  
でウォーキングは断念  
し、無料の湯の浜温泉に  
直行。オーシャンビュー  
の海風が気持ち良い温  
泉は最高。  
折り返しフェリーで  
式根島にアツという間  
の到着。民宿「石臼荘」  
で休憩後、周囲4kmを  
ジョギング。地鉦温泉・  
足付温泉と回って疲れ  
を癒し、締めくくりに石  
白川海水浴場で一泳ぎ。  
ここは温泉も湧き出て  
ちよっとした海水温泉  
の気分でした。宿のご主  
人は元ランナーで、娘さ  
んも現役ランナーとの  
こと、奇遇でした。  
《7月17日（月）  
式根島↓大島↓竹芝へ》  
朝食後は土産物店を  
散歩。港の途中で寄った  
泊海岸は素晴らしい口  
ケーションで、全員感謝  
感激。



十時に高速船で式根島  
を後にして一路大島へ。  
滞在は2時間弱。島で  
はメンバーと親交のある  
元観光協会長の阿部さん  
をはじめ陸上愛好会の皆  
さんと、馴染みの定宿「富  
士や」で昼食を食べなが  
らマラニックや婚活につ  
いて親しく懇談。中身の  
濃い時間を過ごしまし  
た。栈橋では皆さんに  
テープで見送っていただ  
き、後ろ髪を引かれて  
竹芝に戻ってきました。  
なお、大島で「しまぼ」

に5島目のスタンプをも  
らい全員計75Pをゲッ  
トしこれも大満足でし  
た。  
以上、今回の島旅は「伊  
豆諸島・島巡りマラニッ  
ク&婚活ツアー」の具体  
化に向けて貴重な下見と  
なりました。  
■大島近況報告  
【キョン捕獲チーム「キョ  
ンとるず」を結成!!】  
大島の特定外来生物で  
ある「きよん」（中国原産  
は、昭和四十五年の台風  
で大島公園から逃げ出し、  
天敵も無く繁殖力が  
高いため島内で大発生し  
て、明日葉等の農産物を  
食い荒らし住民の生活に  
大きな被害を与えていま  
す。此れまで様々な駆除  
を試みましたが有効な解  
決策は見出せませんでした。  
この度、大島町、東京  
都、住民、業者によってキ  
ョン捕獲チーム「キョ  
ンとるず」が結成され、住民  
のみならず在京者として  
も、その成果に大きな期  
待を寄せています。キョ  
ンは俊敏で賢いので一筋  
縄ではいかないと思いま  
すが、関係機関と住民の  
知恵と経験で撲滅に向け  
活躍してほしいと心から



願っておりません。これが  
成功したら次はサルと台  
湾リスも早急な対策をお  
願いしたいと思います。  
【第六十三回伊豆大島「椿  
まつり」が一月二十八日  
から始まります。】  
島内にヤブツバキが咲  
きほこり、場所によって  
は大島ザクラと紅白の花  
で早春の大島が楽しめます。  
特に、大島公園の椿園  
は四五〇種三七〇〇本の  
様々な椿と約五〇〇〇本  
の自生種のヤブツバキが  
見頃です。期間中は他に  
も様々なイベントを催し  
ます。  
二月二日（金）〜三月十八  
日（日）の金・土・日曜日  
夜まつり（元町港船客  
待合室）  
二月三日（土）ミス椿女王  
コンテスト・撮影会（大  
島公園椿プラザ）  
二月十一日（日）第四十七  
回大島カメリアマラソン  
大会（町役場スタート）  
（今年も職場の仲間一〇  
名で参加して、一大イベ  
ントを盛り上げてきま  
す。）  
【大島みどころスポット】  
島を回ると三原山はじめ  
様々な観光スポットが楽  
しめられますが、今回二つ紹  
介します。

①『ばれ・らめーる』（貝  
のみの博物館・勤労福祉  
会館内）  
ばれ・らめーるとは『海  
の宮殿』というフランス  
語です。世界から約一五  
〇〇〇点の美しい貝・珍  
しい貝を集めたロマンあ  
ふれる博物館です。五億  
四千年前に誕生したオキ  
ナエビスガイやオウムガ  
イは原始的な体のつくり  
を残しており、生きてい  
る化石と呼ばれていま  
す。オキナエビスガイは  
世界で三〇種類見つかっ  
ており、ここには二十七  
種類展示しています。そ  
して大島の秋の島（泉津）  
にも生息しています。  
②『ふらつとハウス』（農  
産物直売所）大島空港近  
く）  
大島の農家が作った新  
鮮な獲れ立ての野菜（ジ  
ヤガイモ・キュウリ・ナ  
ス・トマト・山芋・明日  
葉などの季節野菜）地た  
まご・切り花（ガーベラ・  
トルコキキョウなど）や  
大島牛乳・アイスクリー  
ム（ミルク・明日葉・あ  
ずき・ココア・塩など）、  
ソフトクリームなど多く  
の商品を販売しており、  
見ても食べても楽しいお  
店です。

感謝

## 利島村役場協賛 利島会「バーベキュー大会」は 今年も大盛況

利島会事務局長 前田 清

心配していた天候は雲一つなく晴れわたり、清々しい青空とほほをなでる爽やかな風は願ってもない野外バーベキュー日和となりました。

国営昭和記念公園に「つばきさくゆり伊豆利島」ののぼり旗がはためく中、午前10時にはバーベキュー会場に70名の利島出身者と利島を応援するファンが集いました。

かつての生徒を思う先生と恩師を慕うかつての子どもたちの再会で会場は笑顔がはじけました。利島の小さな学校が舞台であった半世紀前の物語は、この日長い時を超えて今年も強い絆でつながりました。みんなそれぞれ波乱万丈の人生を生きました。秋が過ぎやがてまた冷たく厳しい冬がやってきても、今日のひと時を思い切り楽しみたいからはそう読み取れませんでした。

公務多忙の中、前田福夫村長が駆けつけ、島の現在とこれからのについ

て熱い思いを語ってくれました。利島に関心を持たれ利島ファンになられた方々も熱心に耳を傾けてくれました。

さざえ、明日葉、磯もの、くさや、たかべ、赤飯の食材、八年目の復活を果たした「さくゆり焼酎」、そして利島出身者のギター演奏も加わり、バーベキュー会場は今年も賑わい利島の輪が広がりました。

東京島嶼郷友連合会からご出席いただいた役員のみな様、貴重な一日を利島会応援に割いていただき、出席者のみな様からご寄付もいただき本当にありがとうございます。

利島現地からも応援の寄付を寄せていただきました。利島総合サービス有限会社代表取締役

役宮本綾子様

株式会社共栄建設代表取締役 締役渡邊和男様

利島ふぁーむ株式会社代表取締役 前田清様

皆さまの応援に厚く御礼を申し上げます。

「継続は力なり」良き伝統を受け継ぎながら、来年もこの会場に多くの利島ファンが集えるよう利島会活動の一年がまた始まります。



# いつでもどこでも 石工事施工します

株式会社 ホーヨーでは皆様からの信頼と繊細な技術で創業以来、数々の工事を受けさせていただいております。

神津、湊響寺での施工実績50件以上！

その他毎年、埼玉・横浜でも数多くの施工依頼をいただいております。

## 株式会社 ホーヨー

代表取締役 清水邦洋

【本 社】 埼玉県富士見市水子4718-1  
〒354-0011 本社 ☎ 0120-660-089  
FAX 049-255-7068

【支 社】 浦和支店・横浜支店  
【お問い合わせ】 フリーダイヤル 0120-660-089  
URL <http://www.ishio-hoyo.co.jp/>

# 平成二十九年 郷友連合会の活動報告

郷友連合会理事長 梅田 勉

あけましておめでと  
うございます。

新体制がスタートし  
て二年近くが経ちまし  
た。伊豆諸島小笠原諸島  
出身者を繋ぐ架け橋と  
して地道な連合会活動  
を続けています。五十年  
以上の歴史を継続し活  
動を新たなステージへ  
進めるため、前年度に取  
りまとめた重点課題に  
ついてチームを中心に  
活動を続けています。

【重点課題とその活動状  
況】

■組織体制の定着  
重点課題を具体化し  
て進む方向を確認しな  
がら、さらに実務を円滑  
にするため連合会だよ  
りの編集企画制作・旅行  
計画と実行・会計実務担  
当等を運営事務局に配  
置常任理事会を計画的  
に開催し通常業務を審  
議し執行します。さらに  
定期的に理事会を開催  
して活動報告と重要事  
項を決定します。

## (活動状況)

上記の体制定着は多  
少の遅れはあるもの

理事会で承認を受け定  
着を図っている。

## ■郷土との交流推進

島めぐり旅行を継続  
し郷土と島出身者の親  
睦を深めます。

十分な検討期間を設  
け新しい発想のもとで  
広く旅行参加者を募る。  
行政との懇談を通じ郷  
土との交流を深める。

島の歴史を学び素晴  
らしい自然に親しむ機  
会をつくります。

## (活動状況)

四十七名が参加した  
五月の神津島旅行は、行  
政との交流を深めるこ  
とができ、島の自然に親  
しみながら参加者同士  
の交流も進んだ。

今後の旅行実施につ  
いて、河野副理事長を  
リーダーに選任した。旅  
行チームでは八月に二  
度の検討会を開き十四  
回の旅行の取組み状況  
を話し合った。

旅行の目的・旅行のあ  
り方を整理し、今後の基  
本方針を作成、九月七日  
常任理事会に答申し以  
下の通り基本方針を決

めた。  
・二年続けて島巡り旅行  
を行い、三年目はパスツ  
アまたは休養年に当て  
る。

・三年目の計画は二年目  
の島めぐり旅行実施時  
に決定する。

・来年度は十一月八丈島  
へ青ヶ島旅行を実施す  
る。

## ■広報活動の推進

郷土とのつながりを  
強く意識し魅力ある広  
報活動を推進する。

連合会だよりを通じ  
て活動の取り組み状況  
を広く周知する。

島々の埋もれた情報  
を広く収集し連合会だ  
より紙面を充実させる。

## (活動状況)

連合会だより編集  
リーダーに大澤会長を  
選任した。

・夏号には総会決定事項  
を掲載し、神津島旅行の  
特集を掲載、島めぐり旅  
行の魅力発信した。

・新年号には今年度の活  
動報告を掲載した。

・さらに未加入各島を応  
援のため、島の歴史を掘  
り起こし記事を掲載し  
た。夏号では新島を、新  
年号には御蔵島を掲載  
した。

・硫黄島帰島に関心を寄  
せるため、硫黄島帰島促  
進協議会からの活動報  
告を新年号に掲載した。

・広告掲載の試みとして  
各島から会社の広告を  
募り新年号に掲載した。

・広告料金は一社一〇、〇  
〇〇円とした。

## ■財政基盤の改善

新たな連合会活動を  
実行できる財政基盤を  
整備する。

郷友連合会のブランド  
力を活用した財政改善  
プロジェクトを立ち上  
げた。

## (活動状況)

プロジェクトリー  
ダーに秋廣副会長を選  
任した。

プロジェクトメン  
バーを編成し十月、十一  
月の二回プロジェクト  
会議を開き、どのような  
ことが実施できるか意  
見交換を行い、十二月理  
事会に中間報告を行っ  
た。今後数回の会議を経  
て次の理事会に答申を  
行う予定である。

## ■人材の確保

各島郷友会から人材  
を掘り起こす。

来年の連合会総会へ  
各島郷友会より積極的  
な参加を促す。

各島郷友会イベントに  
もできるだけ役員が参加  
し交流を深める。

## (活動状況)

三月までに行われる各  
島イベントにも応援参加  
の予定である。

## ■連合会への全島加入の推進

未加入各島の加入を推  
進する

未加入島窓口の方と接  
触し連合会だよりを手渡  
し加入のお願いをした。

## (活動状況)

新島、御蔵島の埋もれ  
た歴史を掘り起こし、連  
合会だより夏号、新年号  
に応援記事を掲載した。

## ■硫黄島帰島促進運動への関心

帰島運動の取り組み状  
況について連合会だより  
に掲載し関心を寄せる。

【活動状況】  
硫黄島帰島促進協議会  
の責任者と接触し帰島運  
動の活動報告を掲載し  
た。

## 【定期総会のお知らせと懇親会への誘い】

■定期総会  
日時 平成三〇年四月二  
十九日(日) 十二時  
場所 アルカディア市ヶ  
谷・私学会館

## ■懇親会

総会後恒例の懇親会を  
行います。  
島出身者による芸能も  
披露する予定。  
島に縁のある方はどな  
たでも参加を歓迎しま  
す。

懐かしい方々にお会い  
できる場としてたくさん  
声掛けをしていただき、  
島出身者の交流の場とし  
て大いに活用していただ  
きたいと思えます。

第52回 東京島嶼郷友連合会総会・懇親会



# 八丈島郷友会関係の活動状況

八丈島郷友会 会長 冲山正俊

新年明けましてお目出とうございます。

## 平成二十九年度

◎十月十五日(日) 第三十九回八丈島榎立会総会が、ホテルニューオータニ・ガーデンコートにて開催されました。

の一端を垣間見ることができ、大盛会を呈しました。 ※新会長に光岡多恵子さんが選出されました。

◎第四十七回東京都消防操法大会の応援 十月二十一日(土) 東京消防庁消防学校で行われたポンプ車操法(九隊)に、島しょ支部で八丈町消防団が出動しました。

可搬ポンプ十五隊も出動し、小雨が降る厳しい条件下、規律・士気あふれる迅速な行動に見学者一同魅了され、熟練の操法は、あつてはならない災害時の活躍に期待するとともに、感謝の気持ちで熱い情念がわきあがりました。



山下奉也町長、土屋博議長、浅沼孝彦商工会長総勢三十五名が参加し、八丈島からも「榎立踊り」の皆様が、伝統の踊りを会員と一緒に披露し、「八丈シヨメ節」で絶高潮。順天堂大学で八丈島の古文書を研究している土屋久さん、八丈島ふるさと塾の大澤幸一さんはふるさと八丈島の歌謡集を提供し、多彩な内容で歴史

消防団・関係者の皆様と親しく歓談し、労をねぎらうべき島言葉で語りかけると、若い団員はほとんどが「くに」言葉で、「わからない」に至っては、「あいまいい浦島太郎だじゃ」。時の流れを

実感させられました。尚、操法大会は減点法により順位があり、我が八丈町は第三位になりました。

・平成三十年度の各団体の主な予定  
一月二十一日(日) 第五十六回 八丈島郷友会総会・新年会 四ツ谷駅主婦会館プラザエフ

三月四日(日) 第五十二回末吉郷友会総会・懇親会 都営三田線 芝公園駅 東京グランドホテル  
五月二十六日(土) 第三十六回 三根会総会 中野駅 中野サンプラザ

五月二十七日(日) 八丈島郷友会・八高激励会 四ツ谷駅 主婦会館プラザエフ  
十月二十一日(日) 第四十回 榎立会総会 地下鉄 赤坂見附駅 ホテルニューオータニ・ガーデンコート



## 歴史発掘①御蔵島 元御蔵島郷友会会員



### 島巡り第一回利島旅行の思い出

平成十五年五月十六日、団体見学が終了し自由行動の時間となり利島小中学校を見学した。その時学校の資料室内に利島出身の「彦四郎氏」が江戸時代、御蔵島で船の操船技術を指導したと記され「彦四郎氏」が葬られている墓石の写真が展示されているのが目に留まった。それは江戸時代に御蔵島が三宅島から独立した際大変尽力された「奥山交竹院」のお墓のそばにある墓石であった。私は幼少の頃より「奥山交竹院」のことは知っていたが、利島旅行からしばらくして帰省した折、古文書と古老に接する機会

を得てその詳細を知ることができた。彦四郎氏と御蔵島の廻船 一七二四年頃、御蔵島は人口が増え、南部方面の農地を開拓しても農作物が不足したため島の外から食料を買い入れるための資金が必要となった。桑、ツゲ等を切り出して江戸に出荷するため船の購入が必要となり代官所に申し出、翌年これが許可されて御蔵島は廻船を持つことになった。一七二六年、「彦四郎氏」は「利島の十郎右衛門」の五人乗り持ち船(うち一人は操船指導者)を購入し操船指導にあたった。郷里での言い伝えによると、「彦四郎氏」の亡骸は御蔵島に眠ってはおらず不明である。後年御蔵島の青年たちは「彦四郎氏」は当時帆船の指導行い、我が島に尽くした方であることを知り御蔵島の大恩人「奥山交竹院」の眠るお墓の傍に墓石を置き氏の神塔として敬ったのです。

御蔵島の独立と奥山交竹院 一七二九年頃、廻船を持った御蔵島は三宅島の属領ではなく、代官所の直轄となるよう代官所に申し出たが一筋縄ではいかなかった。このとき御蔵島では江島生島事件で流罪となり御蔵島に来ていた奥山交竹院に相談したところ江戸城内の友人に取次を依頼。その結果、奥山交竹院の死後ではあったがその友人の取次により三宅島からの独立を果たしたのである。当時流人は墓地の隅に埋葬することが一般的であったが郷里の大恩人である奥山交竹院は墓地区域の上流地に埋葬されている。

江島生島事件と奥山交竹院 江戸時代中期、江戸城大奥の御年寄江島が歌舞伎役者の生島新五郎らを相手に遊興に及んだことが引き金となり関係者多数が処罰された。江島の遊興相手とされた生島は三宅島に、大奥御殿医の奥山交竹院は御蔵島に遠島処分となった。



右は奥山交竹院の墓、左は利島の船頭彦四郎氏の墓。

歴史発掘② 御蔵島

郷友連合会 梅田 勉  
理事長

黒船バイキング号事件

「よりびと」と言って漂流者を昔から厚遇する伊豆七島の人々、特に漂流者の多かった御蔵島の人々は「よりびと」を厚遇した。太平洋で最も過酷と言われる御蔵島と三宅島の海域での遭難に、御蔵島島民は人道的立場から国籍を超えて決死の覚悟で海に飛び込み四八〇名全員を救助したのである。

文久三年（一八六三年）六月四日、川のように速い黒潮の流れ、霧の立ち込める朝方、事件は御蔵島の現在の港がある付近で起こりました。巨大な黒船が横付けするように泊まっていた。それがアメリカ船籍バイキング号であった。島の人々は黒船の異様な姿に恐怖を感じたに違いありません。甲板上の身ぶり手振りのやりとりから、ようやく黒船は軍艦ではなく商船で座礁していることが判明した。

当時のアメリカはゴールドラッシュ、採掘のためサンフランシスコでは低賃金の労働者が必要とされ、バイキング号は香港で労働者を雇い入れサンフランシスコに帰る途中でした。島民は決死の覚悟で海

に飛び込み、救助のはしけをバイキング号に近づけようとしたが、救助に来た島民に向かって米国人船長は短銃を発砲するなど一時は騒然とした。それでも御蔵島の人々は人道的立場から国籍を超えて当時六〇戸あった家の三〇戸を提供し全員を救助したのである。このことは近年までほとんど知られていなかった。当時の村民が二五〇名だったのに対して、漂着した人は中国人四六〇名、米国人船員二〇名であった。

昭和三五年（一九六〇年）から御蔵島の植物研究をしていた東京大学の高橋基生理学博士は島では算出しない花崗岩と奇妙な灯籠を神社で見つけバイキング号の遺物であることを発見、博士の調査によってバイキング号の母校ニューベッドフォード市の船だともわかった。このころ米軍水戸射爆場の移転が御蔵島に決定されたことを聞いた博士はすぐ行動を起こした。バイキング号遭難救助事件が必ずアメリカ人の心を動かすと考え、遭難事件の顛末書を当時のライシャワー駐日大使とロバートケネディ司法長官に送った。すぐに二人から協力する旨の快い返事が寄せられた。射爆場問題は急展開し御蔵島は候補地から外された。このとき博士の提案でニューベッドフォード市民が募金活動を行い同市と御蔵島にバイキング号記念碑が建立された。その後、御蔵島では博士の徳を偲び記念碑横に顕彰碑を建立すると共に「自然のなかに人生がある」という記念誌を刊行してその功績を讃えた。



# チーム・キクチ



＜さくゆり焼酎＞  
利島さくゆり.tokyo

賀心

食堂永楽屋を併設している  
料理自慢の宿

民宿  
永楽屋



農業法人 利島ふあ一む株式会社

代表取締役 前田 清  
東京都利島村 8 番地  
TEL : 04992-9-0160



永楽屋代表 梅田 巖  
東京都利島村 20 番地  
TEL : 04992-9-0334



# 島出身者がいる法律事務所

相続、離婚、交通事故、不動産、債権回収など、幅広い法律問題を取り扱っておりますので、お任せ下さい。

## 遺言書作成のススメ

相続のご相談が多くなっております。遺言書の作成方法について、ご相談、アドバイス致します。

# 九段坂総合法律事務所

弁護士 秋廣道郎(大島) 弁護士 白井裕造(大島)

東京都千代田区九段北 1-3-5

ユニゾ九段北一丁目ビル5階 (最寄駅: 九段下駅)

TEL.03-3515-8640 FAX.03-3515-8643

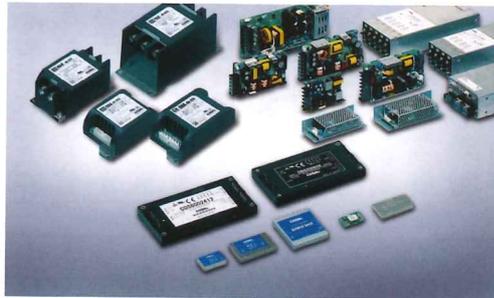
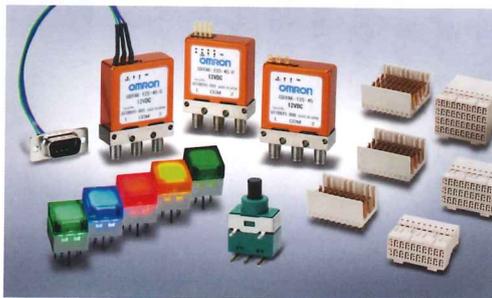
メール akihiro@kudanzaka-law.jp

■シマイルの活動  
冬のイベントが少ない大島。みんなが集まり、笑い、楽しめる、そんな時間を作りたいーそんな気持ちから今年も開催させていたいただいたのが『ハトバ聖夜祭』です。東海汽船元町待合室内にステージを作り、大島の高校生が日頃鍛えたダンスやお母



さん方のフラダンス等、地元飲食店によるとっても美味しい食べ物や飲み物も味わえます。年々、来場者が増えつつあり、老若男女たくさん笑顔が溢れるイベントです。

## 高品質な電子部品、EMS事業、ハーネス事業 等“ソリューション・ビジネス”も充実



特約店 コーセル(株) / 日本電産コパル電子(株) / オムロン(株) / KOA(株)

# 創業50年の信頼と実績

電子部品商社

**メトロ電気株式会社**  
<http://www.metroele.com>

本社・東京営業所 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 1-19-4

TEL: (03) 3253-6661 FAX: (03) 3256-6660

国内拠点 静岡営業所 / 大阪営業所 / 八王子営業所 / 神奈川営業所 / システム事業部 / 九州事務所 / ハーネス販売推進部 / 物流センタ

メトロ電気

検索

### 編集後記

寄稿ご協力ありがとうございました。皆さんの郷友会への思い、故郷への思いが、筆の端々に強く感じられました。

単に活動報告のみにせず、楽しんで読んで頂ける部分もあつたらと収めました。また一歩…。充実した紙面づくりに、皆様のご意見、ご寄稿をお待ちします。

今回、制作費の一助にと収入を得る為、有料で広告掲載を頂きました。一〇〇〇部程の枚数で宣伝効果はいかほどか、心苦しい限りでございますが、ご協力のほど感謝申し上げます。

会運営につきましても七〇歳代主体で思いは燃えています。若い方の入会をもって益々発展してゆく事を願ってやみません。

結びに皆様のご多幸と、連合会がより飛躍の年となりますようお祈りいたします。

山口勝子